



ちょうど今年から、ミッションで
社会と公民を担当しています。さら
に来年度からは、新設される「男子バ
スケットボール部」の顧問も務めさ
せていただくことになりました。
私がミッションの教壇に立つこと
を決めた理由は、教育方針の「勉強
プラスもうひとつ」にあります。さ
まざまな経験が人間的成長を育む
というキリスト教育に基づくこの
考えには、自らのこれまでを照らし
て強く共感しました。
私自身、高校時代には勉強と部活
の両立に悩み続けました。しかし
そんな自分だからこそ、生徒からの

「勉強プラスもうひとつ」 への想い

相談に、経験談をまじえて生きたア
ドバイスができると思っています。
勉強も部活動も、結果主義・勝利主
義ではなく、プロセスを大事にして
ほしい。生徒たちには、プロセスにこ
そ人間の成長にとって大切なものが
あること、中でも「心の持ち方」が一
番重要であることを伝えていけたら
と思っています。
座右の銘は「守破離」
私が教師としても一人の人間とし
ても座右の銘としているのが、武道
などで修行の過程を表す「守破離(し
ゆはり)」という言葉です。
「守」は決まりやルールを守るこ
と。「破」はそこに自分なりのアレ
ンジを加えること。最後の「離」は自分
だけの境地に達することを意味し
ます。この順番通り、まず生徒に対
しては、「名前を呼ばれたら返事を
する」など、部活動や学校生活にお
ける基本的な決まりやルールを徹
底した上で、生徒の自主性や個性を
引き出していききたい。
年頃の生徒たちにとって、決まり
やルールというのは、とかく息苦し
さを感じるものです。理不尽だと感
じることさえあるでしょう。しかし、
決まりを守る段階で抱いた疑問や

さまざまな経験が、将来壁にぶつ
つたとき、それを乗り越える力やた
くましさとなって生きてきます。
きわめて大切な高校時代はたっ
た3年。生徒の未来を一番に考える
からこそ、私は嫌われ役でいいと思
っています(笑)。
**下向きの「コップ」に
水は溜まらない**
本校は少人数制ですから、生徒
一人ひとりにじっくりと向き合え
ます。教師として然るべき時には
厳しく、逆にどんなささいなこと
でも、褒める時には全力で褒める
ようにしています。
褒められた経験が、生徒の「自
信」となります。その自信が、たと
えば推薦入試の面接で「あなたの
長所は？」と聞かれた際などに感
じる「戸惑い」を消し去ってくれ
る。大学側もそんな姿をしっかりと
と評価してくれるはず。
思春期ですから教師に反発する
のも当たり前のことでしょうし、
そんな時は生徒の心のコップが下
向きになっている状態ですから、
そこにいくら水を注いでも溜まり
ません。生徒たちの日々の頑張り
すべてを実のあるものにするため



生徒たちの「心のコップ」を上向きにする—
それが私たち教師の役割だと思っています。

進化する ミツシジョン スタイル

もっと、あなたらしさが輝く場所へ

今春、3コース制から2コース制へと
移行した北陸学院高校(ミッション)。
今号では、男子バスケットボール部('13
年度より新設)の顧問を兼務する社会
科教諭に、「勉強プラスもうひとつ」に
かける想いと意気込みを聞いた。

リレートーク2012
Vol.7

【コース紹介】 あなたがより輝けるコースは？

※2年生への進級時にコース変更が可能です。 ※2コースとも習熟度に応じたクラス編成となります。

特別進学コース

【文系・理系】

難関国公立大学への進学を
目指す

確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む
一般入試にも対応できるハイレベルなコース。コース定員の拡充に
より、同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦の利
用枠が拡大され、進学の選択肢がぐっと広がりました。

【主な進路イメージ】

- 難関国公立大学
同志社大学・
関西学院大学・
金沢大学 など
- 4年制大学・
短期大学・
専門学校 など
- 北陸学院大学への
特別推薦枠

総合進学コース

【文系】

「推薦枠」の利用を基本に、
多彩な進路に対応

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ
100大学に500名近い推薦枠を有し、北陸学院大学への特別
推薦枠もあります。今回のコース再編により、幅広い進路
の選択が可能となりました。

に、いかにしてコップを上向きに
するかが私たちの役割です。
心の成長を第一とする自分のよ
うな教師にとって、「勉強プラス
もうひとつ」を掲げるミッション
はまたとない場。教師として、指
導者として、まずは一人ひとりの
生徒と信頼関係を築くところから、
しっかりと実践していききたいと思っ
ています。

北陸学院中学校・高等学校 社会科教諭

濱屋史篤

はまや ふみあつ

Profile

1988年生まれ。石川県白山市出身。愛知学泉大学コミュニティ政策学部卒。県内高校教師を経て、2012年より北陸学院の教壇へ。現在中学3年生の社会、高校2・3年生に公民を教える。小学3年よりバスケットボールをはじめ、全中ベスト16・石川県選抜(中学)、国体選手(高校)としても活躍。大学では副主将を務める。来年度より新設となる男子バスケットボール部で顧問として指導予定。



2012年度の大学入試結果から 合格実績で見るミッション

一般入試の受験者が増えたことや、一般進学コース(今年度より総合進学コースに改組)からも有名私立大の合格者を多数輩出するなど、教育方針「勉強プラスもうひとつ」による充実した高校生活が、生徒の学習意欲の向上につながっています。

卒業生の合格実績 ※人数はすべて「のべ人数」

すべて現役合格!!

■特別進学コース[文系・理系]

国公立大学	愛知教育大(教育)、金沢大(医薬保健、理工)2名、信州大(工)、富山大(工)
私立大学	学習院大(文)、金沢学院大(経営情報)2名、金沢工業大(情報フロンティア)2名、金沢星稜大(経済)、関西学院大(文、法)4名、京都外国語大(外国語)2名、京都産業大(外国語)3名、京都造形芸術大(美術)、近畿大(総合社会)2名、神戸女学院大(文)、同志社大(社会、心理、政策、文、文化情報)6名、北陸学院大(人間総合)、立教大(文)

■英理進学コース[文系・理系]

国公立大学	金沢大(人間社会)、筑波大(社会・国際)
私立大学	愛知学院大(法)、愛知大(地域政策)、青山学院大(総合文化政策)、活水女子大(健康生活)、金沢学院大(文)、金沢工業大(環境・建築、バイオ化学)2名、金沢星稜大(経済)2名、関西学院大(神、教育、経済、国際、総合政策、人間福祉)6名、京都産業大(法)、金城学院大(文)2名、甲南大(マネジメント創造)、神戸女学院大(人間科学、文)2名、国際基督教大(教養)、玉川大(教育、経営)2名、中部大(国際関係)、東海大(文)、東京女子大(現代教養)2名、同志社女子大(表象文化)、同志社大(文)、東邦音楽大(音楽)、奈良大(文)、阪南大(流通)、フェリス学院大(国際交流、文)3名、佛教大(社会)、北陸学院大(人間総合)9名、北陸大(未来創造、薬)2名、松本歯科大(歯)、桃山学院大(経済)、立命館大(国際関係、文)2名、立命館アジア太平洋大(アジア太平洋)、龍谷大(国際文化、文)3名、ルーテル学院大(総合人間)
短期大学	富山福祉短大、北陸学院大学短期大学部2名、武庫川女子大学短期大学部

■一般進学コース[文系のみ]

私立大学	大阪学院大(経済)、大阪産業大(経営)、金沢工業大(工、情報フロンティア)3名、関東学院大(経済)2名、京都精華大(人文)、京都橘大(文)、京都ノートルダム女子大(心理)、皇学館大(文)、神戸松蔭女子学院大(人間科学)、大東文化大(文)、同志社女子大(表象文化)、名古屋学院大(外国語)、文京学院大(保健医療技術)、法政大(法)、北陸学院大(人間総合)8名、武庫川女子大(文)、明治学院大(文、法)2名
短期大学	青山学院女子短大、京都光華女子大学短期大学部、金城大学短期大学部、帝京短大、富山福祉短大2名、北陸学院大学短期大学部14名、立教女学院短大

※上記一覧は2011年度卒業生の合格実績です。本年度入学者より「特別進学コース」「総合進学コース」の2コース制を実施。

学校・入試説明会のお知らせ

北陸学院高等学校[3年制]

11月23日(金・祝)	学校・入試説明会
12月1日(土)	学校・入試説明会
12月8日(土)	入試個別相談会

北陸学院中学校・高等学校[6年制]

12月8日(土)	クリスマスオープンハウス
----------	--------------



●詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



本校は同志社大に13名、関西学院大に11名の推薦枠を有しています。実際、2012年度も特別進学コース18名のうち同志社大に7名、関西学院大に10名の合格者を輩出。本年度の2コース化により、推薦対象者の枠がさらに大きく広がります。

※2012年度入試の実績であり、今後変更になる場合がございます。

「勉強プラスもうひとつ」で、
憧れの同志社大・関西学院大へ

本校の2012年度の大学・短大・専修・各種学校への進学率は91%。うち、大学への進学率は72%(短大含む)です。4年制大学だけをみると、2005年度には26.7%だった進学率が54%へと数年で急伸しています。

定着しつつある「高い大学進学率」

2012年度入試の進路傾向から 数字で見るミッション



進路イメージ

推薦に強いミッションなら進学も安心

お子さまに近いタイプは?

難関国公立大学に挑戦して、自分の力を試したい。

部活動・習い事・生徒会活動や学校行事など、高校時代にしかできないことにいろいろ挑戦して大学にも進学したい。

高校は部活動で完全燃焼が目標。大会では上位入賞も狙いたい。

理系じゃないけど、将来は看護系や技術系の理系大学に進学したい。

将来は保育士として子どもとかわる仕事をしたい。

栄養士の資格をとりたい。県内の文系大学へ進学したい。

選べる進路

難関国公立大学へ一般入試・推薦入試で挑戦。
(2012年度入試の特別進学コース合格実績では2.7人に1人が国立大に合格)

同志社大学(特別推薦)・関西学院大学(指定校推薦)への推薦枠を利用

全国約100大学、約500名の指定校推薦枠を利用

推薦入試(公募制・自己推薦・AOなど)で希望の大学へ進学

推薦入試で理系の大学へ進学
(学部および在学中の選択科目による)

北陸学院大学へ進学
(特別推薦枠の利用も可)

特別進学コース

総合進学コース

中学生のお子さまをもつ保護者の方へ

推薦入試でも公立高校との併願受験が可能

本校の推薦入試は公立高校との併願受験が可能です。さらに、所定の要件を満たす推薦入試での入学者は、初年度の授業料が無料となる「進学サポート奨学金制度」が利用できます。

※進学サポート奨学金の要件等の詳細についてはお問い合わせください。



※現在の内容は2012年度のものであり、今後変更になる場合がございます。

月刊北國アクタス2012年12月号掲載記事